

板橋区長 坂本 健 殿

平成29年10月2日

板橋区議会 公明 党

幹事長 大田 博



平成30年度予算要望にあたって

今後、多くの人が100年ライフを生きる時代が来ると「ライフシフト」で、著者のグラットン教授が訴えかけています。2050年までには、日本の100歳以上の人口は100万人を超え、2007年に日本で生まれた子どもの半分は、107年以上生きることが予想されています。世界全体が長寿時代に進んでいき、長寿化時代には人生の設計と時間の使い方を根本から見直す必要があり、長寿を厄災でなく恩恵にする人生戦略が重要と訴えています。そのグラットン教授が来日し、政府が開いた「人生100年時代構想会議」において「従来の社会は教育→仕事→引退の単線型であり、今後は教育と仕事、家庭を自在に行き来できる社会が必要になる」と提言しています。

板橋区においても福祉費が増大する中、明日の板橋を担う子供たちの教育を充実させることが重要です。

今回の予算要望では、区民サービスと教育の一層の向上をはかり「東京で一番住みたくなるまち板橋」となるよう、子育て支援の強化、災害対策の強化、高齢者対策、中小企業支援など273項目（その他団体・324項目）を要望いたします。